ＮＯ．４　　令和２年７月１日

神根小だより

７月号　川口市立神根小学校

在籍児童数　男子(183)名　女子(142)名　計(325)名　１５学級

「このような時期だからこそ」

校長　中村　義郎

学校再開から１ヶ月がたちました。校内には、子供たちの元気な声が聞こえています。しかしながら、これまでと違う学校、新型コロナウイルスの感染リスクを下げるため、「学校における新しい生活様式」を実践しています。これまでの生活に比べ、不自由さを感じる制約が少なくありませんが、それでも、神根小の職員、子供たちは、それぞれ、「今、できること」に一生懸命取り組んでいます。

○学習

・友達と近い距離で対面形式となる話合い活動は控え、先生や友達の話をよく聞き、落ち着いて学習に取り組んでいます。
・国語では大きな声で一斉に音読することは避け、それぞれの児童が微音読や黙読する中で、読解などの学習を進めています。
・算数では、問題について自分なりのやり方や解決方法を見つけながら、学習をしています。
・外国語、外国語活動は、リスニングを中心に、楽しく取り組める活動を工夫しています。
・体育では、友達との距離を保ちながら、体操やなわ跳び運動、走る・跳ぶ運動等をしています。
・音楽では、大きな声で歌うことはせず、音に合わせて手拍子したり、リズム打ちをしたりする学習に取り組んでいます。

○休み時間

・休み時間は、密を避けるため、指定された曜日、時間に外で遊んでいます。
・現時点で、遊具等は使用できませんが、皆、それぞれに工夫して遊んでいます。
・室内では、友達と距離をとることを意識して、過ごすようにしています。
・休み時間の後は、手洗いを実施しています。

○給食

・給食前には、特に丁寧に手洗いをします。給食当番は、事前の健康観察もします。
・自分の机を水拭きし、準備をします。
・食事中は、おしゃべりをせず、味わって食べています。
・歯磨きは自席で行い、歯磨きの後は、各自、机を消毒し、清潔を保っています。

「新しい生活様式」実践のため、神根小に関わる誰もが頑張っている最中です。
このような時期だからこそ、「～できない。」「～してはだめ。」という否定的な言葉より、「～できるよ。」「～を頑張ったね。」等の肯定的な声がけで、子供たちを認め、励ましていきたいものです。
今後、状況の推移を見守りながら、感染防止対策を講じた上で、学習活動の幅を広げることも考えています。感染のリスクを完全にゼロにすることはできませんが、警戒を緩めることなく、リスクを下げて学習活動ができるよう工夫して参ります。

先日、大きな行事である運動会、音楽会、持久走大会、大貫海浜学園、修学旅行等の中止について、お知らせをさせていただきました。子供たちもご家庭の皆様もとても楽しみにしていたことと存じます。特に高学年の児童は、それぞれの行事において、活躍を期待していたところでしたので非常に残念です。新型コロナの感染状況は、未だに先行きが不透明であり、第２波の到来も懸念される状況を踏まえ、ご理解をお願いいたします。このような中、子供たちが学校生活への目標がもてるよう支援していきたいと思います。